

# 部落解放研究第45回全国集会

部落解放・人権政策確立にむけた実践交流と研究活動をすすめて、  
人権確立社会の実現をめざそう!

**日時** 2011年11月9～11日(水～金)

**会場** 岐阜県・で愛ドーム(岐阜メモリアルセンター内 第1体育館)  
〒502-0817 岐阜市長良福光大野2675-28 TEL058-233-8822

**集会規模** 6,000人

**参加対象** ①部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など  
②部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員  
③部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆

**参加費** 4,000円(参加・資料費) ※フィールドワーク参加者は別途参加費が必要です

## 参加申し込みについて

- ①各団体で参加者の集約を行っていただき、部落解放同盟の各都府県連合会にお申し込みください。
- ②個人等、一般で参加される方もお住まいの地域の部落解放同盟各都府県連合会にお申し込みいただくか、部落解放同盟中央本部にお申し込みください。
- ③参加・資料費の振り込みは、部落解放同盟各都府県連から一括で下記の口座へお振り込みをお願いいたします。

〈振込先〉りそな銀行 桜川支店 普通預金 0426304  
部落解放同盟中央本部(全研)組坂繁之

## 参加割当

都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当
東京	300	静岡	50	和歌山	250	高知	80
埼玉	250	愛知	500	大阪	400	愛媛	10
群馬	150	岐阜	850	兵庫	350	福岡	300
栃木	100	三重	500	岡山	85	大分	100
千葉	50	富山	20	広島	120	長崎	20
神奈川	60	石川	20	山口	50	佐賀	100
山梨	10	福井	20	鳥取	150	熊本	55
長野	80	滋賀	250	島根	30	宮崎	20
新潟	30	京都	300	徳島	80	鹿児島	20
福島	10	奈良	300	香川	80		

## 主催 部落解放研究第45回全国集会中央実行委員会

### ●中央実行委員会構成団体

一般社団法人全国人権教育研究協議会 部落解放中央共闘会議 全国大学同和教育研究協議会  
社団法人部落解放・人権研究所 『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 同和問題に取り組む  
全国企業連絡会 部落解放同盟中央本部 現地(岐阜県)実行委員会

## プログラム

### 1日目 11月9日(水) 全体集会(で愛ドーム)

12:00	受 付	
13:00	開 会	
13:05	主催者代表挨拶	
13:10	現地実行委員長挨拶	
13:15	地元県連委員長挨拶	
13:20	来賓挨拶・紹介	
13:30	<b>地元報告</b> 岐阜県の部落差別の現状と課題	山口 尚晃 (部落解放同盟岐阜県連合会書記長)
14:00	<b>記念講演</b> 社会的起業・コミュニティビジネスの可能性 ービジネスの手法を活用した人権課題の解決とは?ー	田村 太郎 (ダイバーシティ研究所、多文化共生センター大阪代表)
15:30	<b>全体報告</b> 土地差別調査事件と今後の課題 ~行政、企業、運動の立場から~	鳥本 忠司 ((社)日本広告業協会土地差別調査問題特別委員会委員長) 藤井 靖 (大阪府府民文化部人権室人権推進担当課長) 赤井 隆史 (部落解放同盟中央執行委員)
16:30	事務連絡	

### 2日目 11月10日(木) 分科会(各会場)、フィールドワーク

<b>分科会</b>	9:00 受 付	<b>フィールドワーク</b>	8:15 集 合
	9:30 開 会		8:30 出 発
	16:00 閉 会		17:15 解 散

### 3日目 11月11日(金) 全体集会(で愛ドーム)

9:00	受 付	
9:30	開 会	
9:40	<b>記念講演</b> 『無縁社会』と地域再生の課題	板垣 淑子 (NHK報道局報道番組センター)
10:50	<b>記念講演</b> 地域主権改革と人権行政 ~ナショナル・ミニマムと地方自治の質を問う~	中川 幾郎 (帝塚山大学教授)
11:55	閉 会	

## フィールドワークの申し込みについて

- ①フィールドワークの申し込みは、別紙「宿泊&弁当・フィールドワークのご案内」をご参照いただき、お申し込みください。
- ②フィールドワーク参加費は、集会参加費とは別料金になります。
- ③フィールドワークの参加費（バス代・昼食・入館料含む）は、コース1、コース2どちらも6,000円です。
- ④フィールドワークは、定員に限りがありますので、ご了承ください。

## 宿泊・お弁当申し込みについて

- ①宿泊につきましては、ランク別の料金設定になります。
- ②お弁当、宿泊の申し込み等詳細につきましては、別紙「宿泊&弁当・フィールドワークのご案内」をご参照いただき、お申し込みください。

## 講師紹介 1日目全体集会(11月9日(水))

### 記念講演 社会的起業・コミュニティビジネスの可能性 –ビジネスの手法を活用した人権課題の解決とは?–

田村 太郎 (ダイバーシティ研究所、多文化共生センター大阪)

#### 〈プロフィール〉

兵庫県伊丹市生まれ。高校卒業後、海外を放浪。在日フィリピン向けレンタルビデオ店勤務ののち、1995年、阪神・淡路大震災で被災した外国人への情報提供活動に参加。同年10月、「多文化共生センター」の発足とともに事務局長に就任。同センター代表を経て現在は複数のNPOの理事や会社役員を務める。2007年に「ダイバーシティ研究所」を設立し、CSRや自治体施策を通じた社会課題解決に取り組むほか、甲南女子大学、関西学院大学、大阪市立大学などで非常勤講師として社会起業論を担当。NPO法人edge代表理事。2011年3月、東日本大震災を受けて内閣官房企画官に就任し、被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案にも携わっている。被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)幹事。スペシャルサポートネット関西 世話人。

## 講師紹介 3日目全体集会(11月11日(金))

### 記念講演 地域主権改革と人権行政 ~ナショナル・ミニマムと地方自治の質を問う~

中川 幾郎 (帝塚山大学)

#### 〈プロフィール〉

帝塚山大学大学院法政策研究科教授。1946年大阪府生まれ。同志社大学経済学部卒業。大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。博士(国際公共政策)。1969年より豊中市役所に勤務、1996年市長公室広報課長を最後に退職。帝塚山大学法政策学部助教授、教授を経て現職。日本文化政策学会会長、日本NPO学会理事、自治体学会代表運営委員、文化経済学会理事、コミュニティ政策学会理事などを務め、日本アートマネージメント学会、日本公共政策学会、行政学会などに所属。

## 記念講演 『無縁社会』と地域再生の課題

板垣 淑子 (NHK報道局報道番組センター)

#### 〈プロフィール〉

社会番組ディレクター

1994年NHK入局

これまでにNHKスペシャル「ワーキングプア～働いても働いても豊かになれない～(2006年)」、同「無縁社会～“無縁死”3万2千人の衝撃～」などの提案開発から制作までを担当

著書に『いのちの約束』(2010.3.20、ポプラ社)。内容は、NHK「ドキュメントにっぽんの現場」を書籍化したもので、小児がんのなかでも治療が難しい小児脳腫瘍治療の第一人者である澤村豊医師の日々を紹介したノンフィクション。

[午前の部]

### 「人権CSRガイドライン」: ISO 26000など国際的なCSRの動向に焦点をあてて

①2010年11月に「ISO26000」(社会的責任規格)が発効されました。企業の社会的責任の根底には人権があります。それをマネジメント(40項目)とパフォーマンス(90項目)の両面から具体的に自己診断する「人権CSRガイドライン」とその意義を紹介します。

菅原 絵美 (部落解放・人権研究所企業部会)

### 岐阜県の部落の歴史・同和教育のあゆみとこれからの課題

- ①岐阜県の部落の起源、近世の被差別民の暮らし、明治以降の差別事例、水平社運動等を通して、正しい歴史の見方について考えます。
- ②戦後の岐阜県の同和対策事業や草創期の同和教育について、エピソードをまじえて話します。
- ③これからの人権教育啓発の課題について、私なりに思いを述べます。

[午後の部]

### 社会的排除と児童養護施設

①児童虐待・相談件数だけでついに年間5万件をこし、全国で約3万人をこす子どもたちが児童養護施設に措置されています。そうした背景には「社会的排除」が存在しています。大阪の当事者(組織CVV=Children's Views & Voices)の体験や思いを聞くことを通じ、そのことを考えていきます。

CVVのメンバー、森本 志磨子 (弁護士、CVVスタッフ)

### 震災と人権を考える

①3月11日に起こった東日本大震災の復旧・復興が全国的な課題となっているが、その際、人権やコミュニティを重視した視点からどのような課題があるのか、阪神大震災の教訓をどのように活かしていけるのかを問題提起します。

渥美 公秀 (大阪大学・(特)日本災害救援ボランティアネットワーク)

(司 会) 西島 藤彦 (部落解放中央本部)

**部落の実態把握の工夫と課題解決の手法としての社会的起業**

- ①近年、地域主権とともに新たな公共が注目されてきている中、(地域の)社会的課題を解決するひとつの手法としての「社会的起業」について、部落を含めた地域での実践活動を紹介し、その可能性を考える。
- ②日本社会全体の不安定化が叫ばれている中、部落の再不安定化が懸念されているにもかかわらず「法」期限切れ以降、被差別部落の実態把握のための取り組みが沈下してきている。このような状況にあって、近年、利用可能なデータ・方法を模索・駆使した部落の実態把握の一つの手法として、官庁統計の国勢調査小地域集計の活用が試みられており、その具体的内容と有効なデータとなりうることを紹介する。
- ③今日、グローバル化などを背景にした日本経済が大きく変動する中、多くの人たちが雇用不安定となり、適切な労働条件が確保されず、社会保障制度からこぼれ落ちるといった状況が生まれてきている。このような中、2009年に連合・連合総研が取り組んだ「ワーキングプア調査」を参考に部落の青年の雇用・生活実態調査に取り組んだ部落解放同盟中央本部が明らかにしてきた、働いているにも関わらず貧困な世帯の仕事や生活の諸課題と必要な政策や支援について、雇用不安定における普遍性と部落における独自性も念頭に置いて紹介する。
- ④福祉と人権の視点からの地域ネットワークづくりが重要な課題となってきている今日、2010年度厚生労働省の社会福祉推進事業として採択された隣保館における地域社会資源との連携調査結果から、その課題等について学習する。

**[午前の部]****報告** お仕事興業 藤本 高美 (久宝寺緑地公園管理事務所)**報告** NPOとちぎフードバンク 古川 勉 (部落解放同盟)**[午後の部]****報告** 国勢調査活用 妻木 進吾 (目白大学)**報告** 部落青年の雇用・生活実態調査 内田 龍史 (尚綱学院大学)**報告** 隣保館と社会資源等の連携状況アンケート調査 寺川 政司 (近畿大学)

(司 会) 赤井 隆史 (部落解放同盟)

## 人権教育・啓発の基本的あり方を再検討する―「基本計画」の抜本的改訂を求めて

①日本の人権教育・啓発のあり方を再検討するとき、以下の3つの視点が重要です。

第1は、「マイノリティをはじめすべての人々のエンパワメント」や「普遍的視点と個別的視点の統一」といった、人権教育・啓発の基本原則の確立です。

②第2は、その基本原則の1つでもある国際的な視点の重視です。特に国連「人権教育の世界プログラム 第2段階」（2010～14年）は、教員・教育者、公務員、法執行者等の市民の権利を実現する責務を負う人々の人権研修、高等教育における人権教育を重点としています。そして公権力を有する人々の人権研修は、刑務官の人権研修を明記した「刑事収容施設等の処遇法」のような法的措置が必要です。

③第3は、社会の未来であるべき青少年が貧困・不安定化の中に置かれているなか、人権教育は何ができるかです。『子ども・若年白書』でも、「困難を有する子ども・若者やその家族への支援」を示しています。こうした視点から、現在の人権教育・啓発を再検討するとともに、人権教育・啓発推進法に基づく「基本計画」の抜本的改訂の議論を深めていきます。

## [午前の部] 基本的な問題提起

## 問題提起 「基本計画改訂をめぐる動きと課題」

岡田 健悟（部落解放同盟）

## 問題提起 「基本計画改訂案の構想と人権教育・啓発の基本原則」

上杉 孝實（京都大学名誉教授）

## 問題提起 「普遍的アプローチと個別的アプローチの視点から」

平沢 安政（大阪大学）

## 問題提起 「国連人権教育の世界プログラム 第2段階の視点から」

阿久澤 麻理子（大阪市立大学）

## [午後の部] 実践報告と意見交換

## 実践報告 「大阪における公正採用選考人権啓発推進センター設立と課題」

内海 義春（大阪企業人権協議会）

## 実践報告 「文科省人権教育推進状況調査結果と課題」

栞原 成壽（全国人権教育研究協議会）

## 実践報告 「インターネット・モニタリング事業と課題」

尼崎市協働推進局人権課

(助言者) 桂 正孝（宝塚大学）

(司 会) 吉岡 正博（部落解放同盟）

**「狭山再審闘争と司法民主化の課題」**

- ①狭山事件の真相、石川一雄さんの無実の証拠、第3次再審請求の三者協議や証拠開示などの動きについて学習し、狭山事件の再審をひらくための取り組みを考える。
- ②狭山事件、布川事件、足利事件、志布志事件などの冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法、メディア等の問題点を明らかにするとともに、冤罪・誤判をなくすための課題を考える。
- ③代用監獄や人質司法、検察官、裁判官のありかたなどの問題点を考え、誤判・冤罪をなくすための司法改革の課題を考える。
- ④取調べの全過程の可視化（録画・録音）、公正な証拠開示の法制化を具体化するための課題、運動について考える。
- ⑤国際人権自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の司法制度に学び、日本における司法改革の課題を考える。

**【午前の部】**

- 報告** 狭山弁護団報告 中山 武敏（狭山事件再審弁護団）
- 訴え** 石川さんの訴え 石川 一雄（狭山事件再審請求人）
- 報告** 冤罪防止と証拠開示の法制化 松岡 徹（部落解放同盟）

**【午後の部】**

- 報告** 証拠開示はどうあるべきか 庭山 英雄（弁護士）
- 報告** 布川事件で再審無罪をかちとって 桜井 昌司（布川事件）

**シンポジウム** 冤罪をなくすために（狭山、布川、足利、志布志の冤罪当事者）**【報告とパネルディスカッション】**

- 〈パネラー〉中山 武敏（狭山事件再審弁護団）  
石川 一雄（狭山事件再審請求人）  
庭山 英雄（弁護士）  
桜井 昌司（布川事件）  
菅家 利和（足利事件）  
藤山 忠（志布志事件国賠原告）  
川畑 幸夫（志布志「踏み字」事件）  
武田 佐俊（志布志事件・住民の人権を考える会）  
松岡 徹（部落解放同盟）

（司 会）小野寺 一規（部落解放同盟）

（助言者）片岡 明幸（部落解放同盟）

**「インターネット上の差別事件を考える」**

①差別書込みや差別情報の氾濫など、現在のインターネット上の差別事件、人権侵害の状況をどのように捉えるのかをテーマに、高度情報化社会における差別（事件）の実態把握と対応策について考える。

[午前の部]

**報告** 大熊 照夫（映画監督）

**報告** 松村 元樹（反差別人権研究所みえ）

**報告** 下吉 真二（部落解放同盟）

[午後の部]

**午前中の報告、会場からの質疑をもとにしたシンポジウム**

〈パネラー〉大熊 照夫（映画監督）

松村 元樹（反差別人権研究所みえ）

下吉 真二（部落解放同盟）

（司 会）北口 末廣（部落解放同盟）

**人権侵害救済法がひらく未来－政府案の実力**

①民主党でまとめられた（る）人権侵害救済法・政府案のめざすところを学習する。

②人権市民会議案、日弁連案と比較し、積極面、消極面を議論する。

③政府案がどのように被害救済するのか、現実には起きている事件を例に検証する。

以上を踏まえて、人権の法制度早期制定に向けた課題を検討する。

[午前の部]

**講演** 『人権侵害救済法・与党案のめざすもの(仮)』

松野 信夫（参議院議員・民主党政調プロジェクトチーム）

**講演** 『与党案に対する評価』

山崎 公士（神奈川大学教授）

丹羽 雅雄（弁護士）

[午後の部]

**パネル討論** 『政府案の実力を検証する～現実の差別事件に即して』

〈パネラー〉松野 信夫（参議院議員・民主党政調プロジェクトチーム）

山崎 公士（神奈川大学教授）

丹羽 雅雄（弁護士）

組坂 繁之（部落解放同盟）

（司 会）谷元 昭信（部落解放同盟）



## フィールドワーク 11月10日(木) 8:30~15:15(集合8:15)

### コース1 (定員90人(45人×2班))

#### 可児市久々利・地下壕跡見学と島崎藤村ゆかりの地「中山道馬籠宿」

参加費	集合時間	出発時間	集合場所
6,000円(バス代・昼食・資料代・入館料含む)	8:15	8:30	JR岐阜駅北口団体バス乗降場

JR岐阜駅北口団体バス乗降場集合 (8:15)	移動 (8:30)	可児市・平政地下壕跡 (10:00)	(11:00)
馬籠(昼食) (12:40)	中山道馬籠宿(藤村記念会館) (13:30)	JR岐阜駅北口団体バス乗降場 (15:00)	(17:15)

#### 語り部

加藤 明さん(岐阜県地下壕研究会代表、戦争遺跡を保存する瑞浪の会、岐阜・朝鮮学校と交流する会)

#### 可児市・平政地下壕跡

可児市にはアジア・太平洋戦争の末期に掘られた地下壕があります。三菱名古屋航空機製作所第4製作所(エンジン部門)の疎開工場建設のために掘られたトンネルになっています。この建設工事に従事したのは、朝鮮半島から日本へ移送された朝鮮人とほかの労務者たちでした。

彼らは発破作業やサバ土の運搬など、突貫工事は昼夜二交代の12時間の苛酷な労働に従事していたと言われています。

現在、壕内の保存状態は良好で『岐阜県地下壕研究会』のご案内で安全な見学ができます。この見学会を通して朝鮮人強制連行の歴史を学びながら、今後の保存や活用の方法について考えたいと思います。

### コース2 (定員90人(45人×2班))

#### “命のビザ” 杉原千畝記念館と島崎藤村ゆかりの地「中山道馬籠宿」

参加費	集合時間	出発時間	集合場所
6,000円(バス代・昼食・資料代・入館料含む)	8:15	8:30	JR岐阜駅北口団体バス乗降場

JR岐阜駅北口団体バス乗降場集合 (8:15)	移動 (8:30)	人道の丘 杉原千畝記念館 (10:15)	(11:00)
馬籠(昼食) (12:40)	中山道馬籠宿(藤村記念会館) (13:30)	JR岐阜駅北口団体バス乗降場 (15:00)	(17:15)

#### 杉原千畝記念館

第二次世界大戦の際、リトアニアのカウナス領事館に赴任していた杉原千畝氏は、ナチス・ドイツの迫害によりポーランド等欧州各地から逃れてきた難民たちの窮状に接し、彼らを救うことを決意。外務省からの命に反して、大量のビザ(通過査証)を発給し、およそ6,000人にのぼる難民の命を救いました。

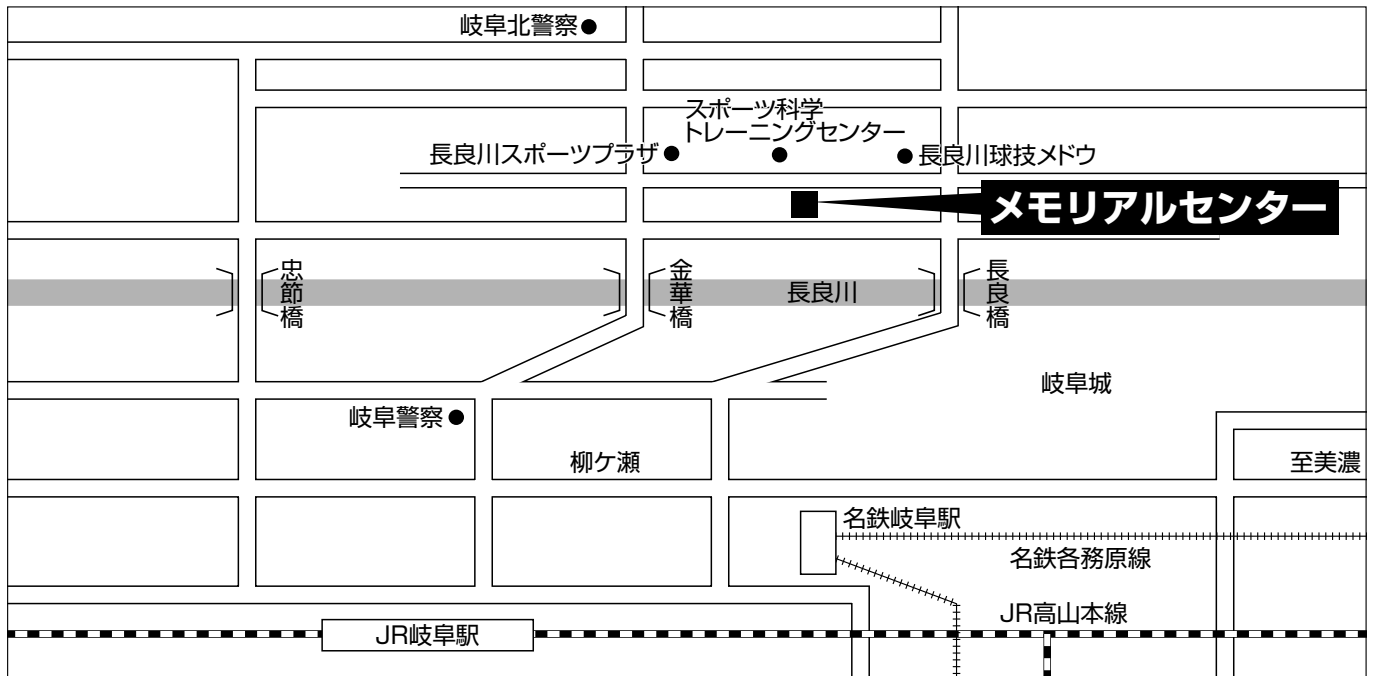
1900年、岐阜県八百津町のごく一般的な家庭の中で生まれ育った杉原千畝の生涯を紹介します。

## 会場付近地図

### 全体会場・第1分科会

**で愛ドーム（岐阜メモリアルセンター内 第1体育館）**

〒502-0817 岐阜市長良福光大野2675-28 TEL 058-233-8822



■交通機関 JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から岐阜バスで「岐阜メモリアルセンター前」下車、徒歩約5分(300m)

### 第2分科会 岐阜市文化センター（小劇場）

### 第5分科会 岐阜市文化センター（催し会場）

〒500-8842 岐阜市金町5-7-2 TEL 058-262-6200



■交通機関 JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から徒歩約7分(420m)、または岐阜バスで「岐阜市文化センター金神社前」下車、徒歩約1分(60m)

**第3分科会** じゅうろくプラザ (ホール)

**第6分科会** じゅうろくプラザ (大会議室)

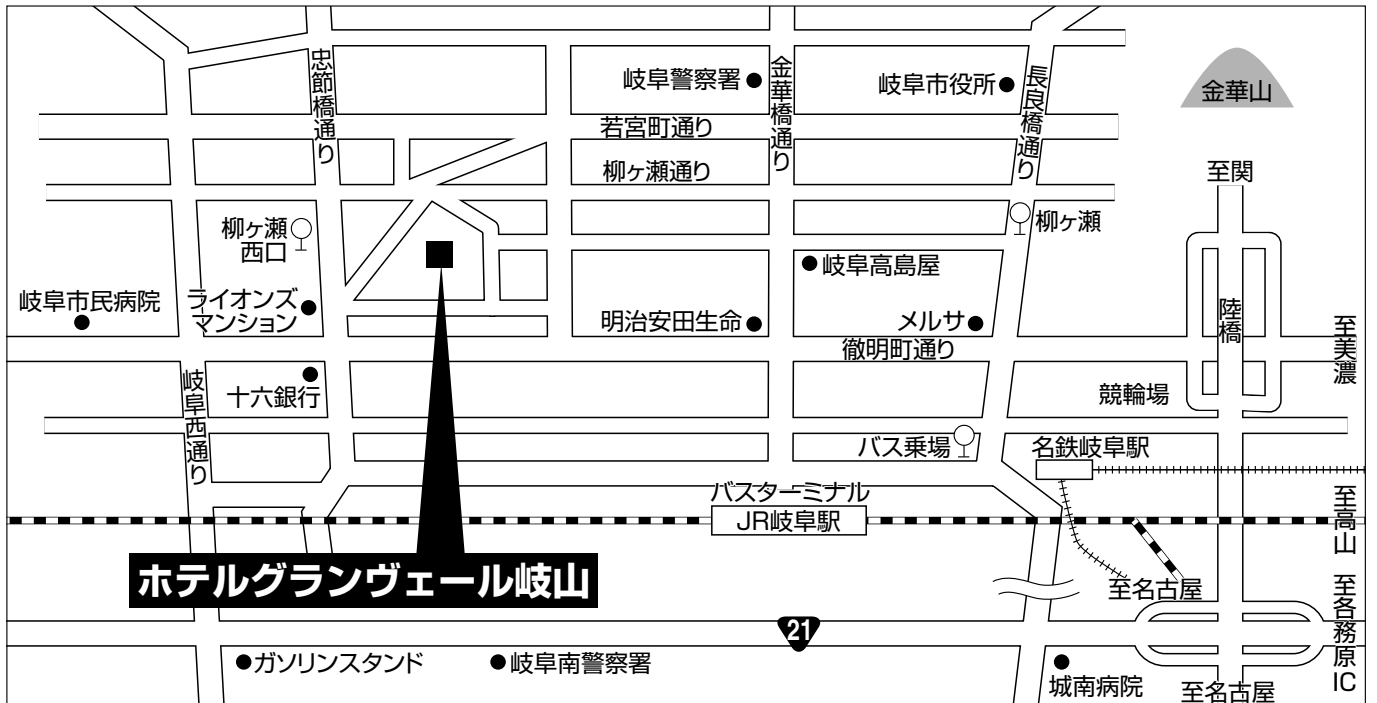
〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-11 TEL 058-262-0150(代)



■交通機関 JR岐阜駅より徒歩約2分(120m)、名鉄岐阜駅より徒歩約7分(420m)

**第4分科会** ホテルグランヴェール岐山 (2階カルチャーホール)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通6-14 TEL 058-263-7111



■交通機関 JR岐阜駅より徒歩約20分(1,200m)、または岐阜バス「柳ヶ瀬西口」下車、徒歩約2分(120m)